

標 題

『仁多米』が3年ぶりの金賞受賞！！

～第19回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会～

(ダイジェスト)

11月25、26日、山形県最上郡真室川町において「第19回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」が開催され国際総合部門において、奥出雲町1団体が3年ぶり7度目となる金賞を受賞しました。

【国際総合部門 『金賞』 奥出雲仁多米株式会社おいしい仁多米をつくる会】

山形県最上郡真室川町で開催された本大会は、国内外から5,551点の出品があり一次、二次審査の各種基準を満たした上位43点が最終審査にノミネートされました。

大会当日は、最終審査として、審査員30名による食味官能審査（外観、香り、味、粘りなど）が行われ、厳正な審査の結果、国際総合部門において18点が金賞を受賞しました。

また、大会当日は、平成30年からの米政策、農政の転換期を迎える中「市場から求められる米づくり」と題した講演会が開催されました。市場から求められている米、消費者が求めている米、売れる米について講演されました。講演会を聴く中で、ブランド米が群立する中、生産者や産地は今後どのような取り組みが必要かについて生産者、行政、農業団体等がそれぞれの視点で考える機会となりました。

奥出雲町は、地域資源（奥出雲和牛、森林資源）を活用した循環型農業と減化学農薬、減化学肥料、土づくりの特色ある取り組みを推進しています。その中で、当普及部では、仁多米振興協議会（奥出雲町、JA、奥出雲仁多米(株)、普及部）において、この特色ある取り組みに基づく仁多米生産振興と品質向上を目指した実証圃の設置や定期的な検討会を開催しています。

今後も高品質で安心、安全な仁多米を消費者へ届けられるように関係機関と生産者が共通した目標のもと、産地一体となった取り組みが展開できるよう普及活動を行っていきたいと考えています。



食味官能審査



審査結果発表（仁多米3年ぶりとなる金賞受賞！）